

1/11・19
Sat Sun

歴史講座

「江の島と藤沢宿を描いた浮世絵たち」

1月11日(土)・19日(日)の2週にわたって歴史講座「藤沢市所蔵浮世絵の魅力」が開催され、藤沢浮世絵館学芸員の益田さんからお話を伺いました。

藤沢浮世絵館は、東海道藤沢宿や江の島を題材とした浮世絵や関連資料の鑑賞ができる施設として藤沢市が平成28年7月に辻堂駅近くのビルの7階フロアに開設しました。喜多川歌麿や葛飾北斎などの有名絵師ばかりではなく、あまり知られていない絵師の作品も多く、1500点から2000点程の浮世絵があり、他にもそれ以上の数の版本(木版で刷られた本)や地図・絵図等を所蔵しているそうです。

講座初日の11日は、浮世絵の基礎的な知識や鑑賞の手引き・藤沢浮世絵館と藤沢市の浮世絵の特徴についての講演が公民館大会議室であり、18名が受講しました。19日は初日受講者のうちの12名が藤沢浮世絵館を訪れて、益田学芸員から詳しく解説を受けた後、展示されている浮世絵や版本等を鑑賞しました。

2/9
Sun

ファミリーバドミントン大会

星が丘小学校体育館で第6回ファミリーバドミントン大会が開催され、20名の選手が参加して競技を楽しみました。競技結果は、次のとおりです。



優勝 K2C(千代田2丁目)



準優勝 千代田3丁目



3位 千代田4丁目



「ファミリーバドミントンの普及・指導活動を振り返って」

平成26年当時、市スポーツ推進委員連絡協議会はニュースポーツの普及・指導活動に、新種目として【ファミリーバドミントン】を推進していくこととなりました。それに伴い星が丘公民館体育事業も平成26年度に初の講習会を、平成29年度に第1回大会を開催し、以降令和5年度まで普及・指導活動を続けてきました。

「ニュースポーツはゲーム性が高く運動量は少ない」と思われがちで、当初は50歳代以下の参加者は少なかったのですが、講習会のレベルを少しずつ上げていき50歳代以下の方が多数参加されるようになって、相模原市民大会では一般の部で5回の優勝、小学生の部で2回優勝と4回の準優勝を達成することが出来ました。これら10年間の普及・指導活動によりファミリーバドミントンは世間での認知度も高まるなど、スポーツ活動の基盤が確立されました。そこで、今後の活動はサークルにお任せし、令和7年度からは新たな市の活動競技【ピックルボール】【モルック】に照準を合わせて体育事業を進めていく予定です。

(星が丘公民館体育委員会)



普及・指導活動の様子



【ピックルボール】

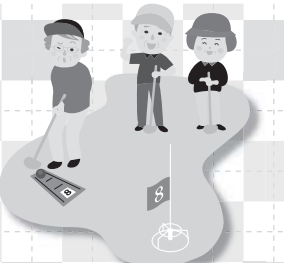
【モルック】

3/8
Sat

グラウンドゴルフ体験

時折、雪が舞い散る中、多数の子ども達が参加しました。

星が丘地区グラウンドゴルフ普及委員会の方々のご指導で、ルールや道具の使い方などを教わり競技開始。一打一打に一喜一憂しながら、グラウンドゴルフを楽しんでいました。



星が丘公民館事業予定(5月～7月)

※その他、随時事業実施

5月	11日(日)	春のウォーキング【体育委員会】	
	18日(日)	自治会親善ソフトボール大会【体育委員会】	
	25日(日)	消防団体験【青少年事業】	
6月	8日(日)	音楽講座「沖縄舞踊への誘い」【学習文化委員会】	
	15日(日)	ボッチャ&モルック講習会①【体育委員会】	
	29日(日)	ボッチャ&モルック講習会②【体育委員会】	
7月	13日(日)	ボッチャ&モルック講習会③【体育委員会】	

神奈川県民俗芸能保存協会功労者表彰

加藤辰雄さん(星が丘4丁目)が、神奈川県民俗芸能保存協会令和6年総会にて功労賞を受賞されました。

加藤さんは昭和62年ごろ、当時の星が丘坂上自治会(現星が丘4丁目自治会)にはお囃子がなく、丸崎地区の保存会の方に習い、活動する先輩方の誘いで坂上囃子連に入会、伝統ある山の手祭囃子を習得し地域の子供たちや仲間たちと活動を続けてきました。

この度の受賞は、平成元年に祭り好きな仲間で結成された、祭囃子愛好の会相模粋鼓會を立ち上げ、神奈川県民族芸能保存協会に所属し、現在まで国内や米国ワシントン州エヴェレット市親睦講演など日本の民俗芸能を披露し技術の継承と保存、そして地域振興への奉仕活動等の功績が認められ受賞されたものです。

